

官民連携に関するPR資料

企業名	X 株式会社 栗本鐵工所
連絡先	鉄管事業部 事業企画部 TEL:06-6538-7615 FAX:06-6538-7752 担当：道浦、葛岡、畑中 (E-mail:y_michiura@kurimoto.co.jp)

官民連携の実績等（このような取組みが出来る、又は、実施している。）

■ 栗本鐵工所は、上下水道事業における官民連携に積極的に取り組んでまいります。

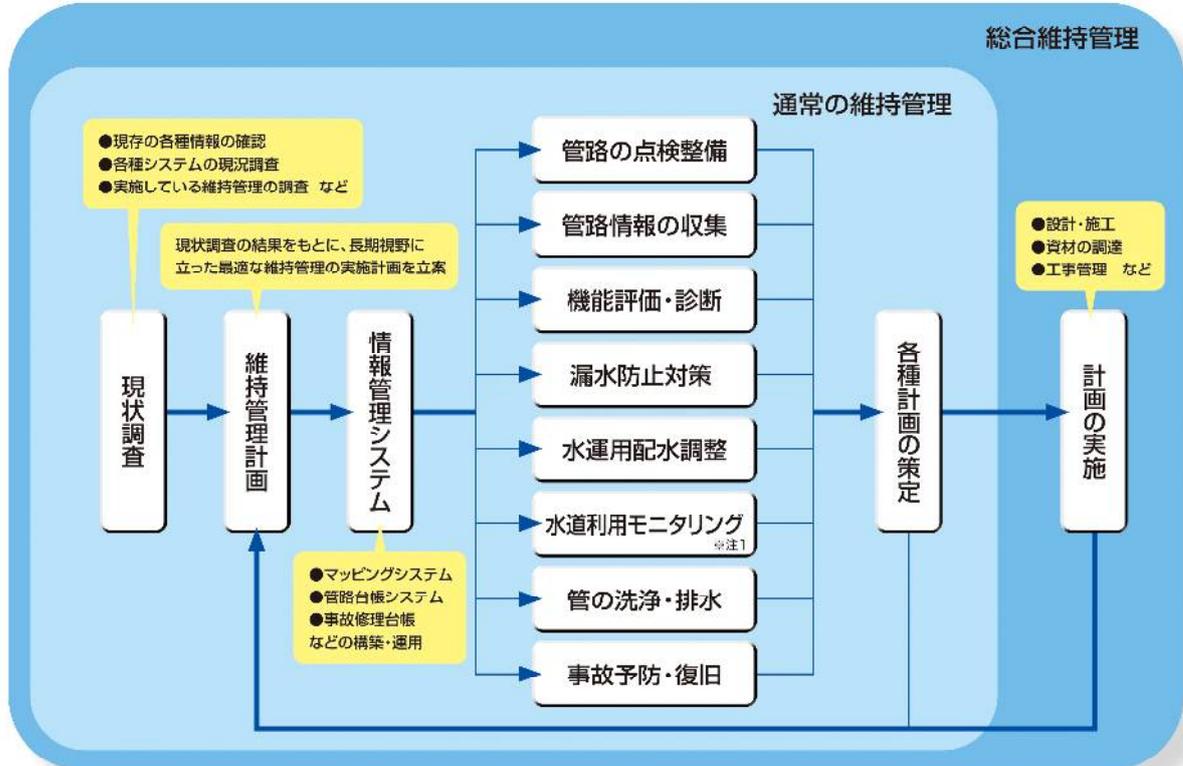
管だけでなく、弁栓類を含む管路システム全体の維持管理に不安や不満はありませんか？そして、将来の持続的な水道サービスに対して漠然と不安を感じておられませんか？

クリモトは、その不安や不満を事業体や地元業者等の皆さまと一緒に考えて考え、解決したいと考えております。

■ 日常点検データを有効活用した管路維持管理のイメージ

日常業務から得られる様々なデータの中には、効果的な維持管理に役立つ有益な情報が多々あります。それらを十分に活用した維持管理手法をご提案させていただきます。また、それらのデータを補完するための管体調査等の管路情報取得に関して、より経済的な方法を併せてご提案させていただきます。

《管路維持管理のイメージ》

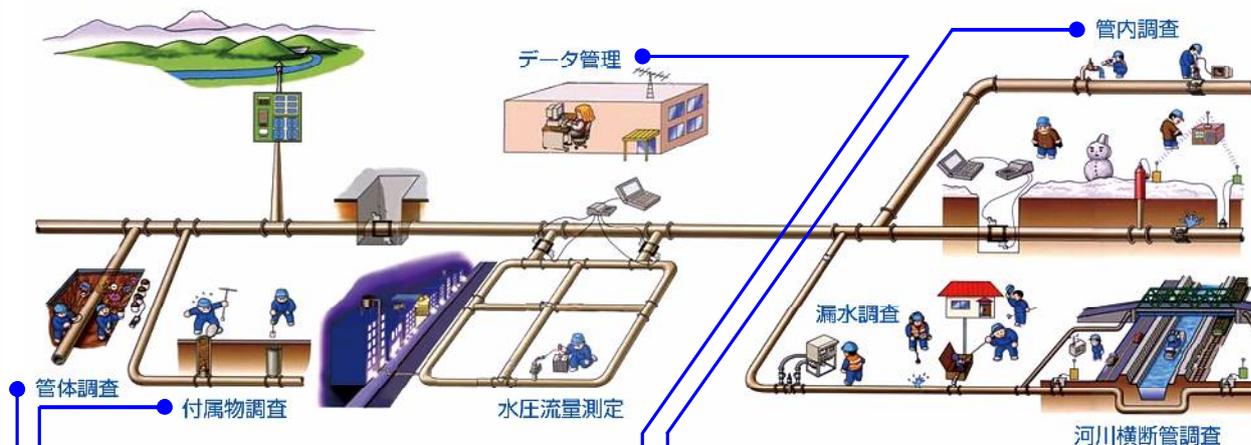


※注1:水道利用モニタリングによる安否確認

水道資産の約 7 割を占めるといわれております管路施設ですが、各事業体様により抱えておられる課題や問題点は異なり、多岐に渡っております。それらを解決するためのさまざまなご要望にお答えするために各種調査ツールをご用意しております。各事業体様が保有される管路システムの課題・問題解決に向けて PDCA サイクルを回し、あるべき姿を目指して日々の管路維持管理業務をサポートいたします。

■ 具体的な調査等内容のご紹介

現在、事業者様や地元業者様と一緒に取り組んでおります管路維持管理業務における各種調査業務の一例をご紹介します。いずれの調査も、管路システムの安定・安心を判断するため有益な情報取得が可能となります。また、それらのデータを有効活用するためのマッピングシステムを構築いたします。



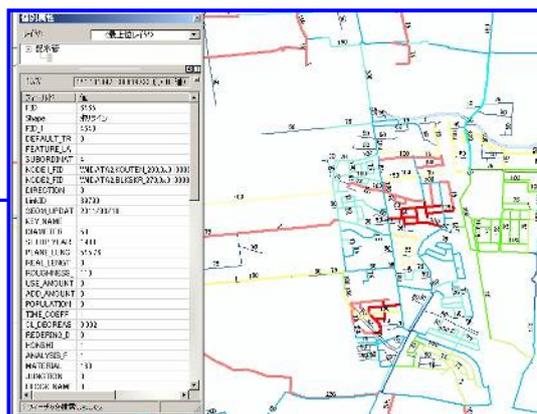
管体調査(超音波管厚測定)



管内調査(不断水管内カメラ調査)



付属物調査(弁栓類点検)



データ管理(マッピングシステム)

まずは、出来ることから取り組んでみませんか？お気軽にご相談下さい！

水道事業者等への要望、官民連携における課題

- 人材交流・人材派遣等により形式知を含む維持管理ノウハウの相互共有が必要と考えます。
- 官民連携により、管路システムのあるべき姿と実現可能な事業とのギャップを埋める新たなビジネスモデルの共同模索・構築が必要であると考えます。